

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

園名	東松原保育園
活動日時	令和 7 年 12 月 1 日 (月)
クラス名(年齢)	ぱんだ組(3 歳児)

1、活動テーマ

<テーマ>

音の違いに気づく

<テーマの設定理由>

玩具を叩いて鳴らして声かけると、違う物で音を鳴らしていたので、違いに気づくかもしれないと感じたため。

2. 活動スケジュール

玩具を叩いて鳴らす子に声をかけ、様子により言葉かけをしていく。

3、活動のために準備した素材や道具、環境の設定

園庭の玩具

4、探究活動の実践

<活動内容>

園庭遊びの片付け中、シャベルとバケツで音を鳴らしていた。
「面白い音だね」と声をかける。
違うもので音を出し始める。そばにいた子も音を出して遊ぶ。

<活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり>

① 片付け中、音を鳴らしていたので、「面白い音だね」と声をかける。「これはどう？」と違う物でも音を鳴らし始める。



② 近くに来た子が、「これは？」と真似し始める。



③ 「カッカカッって音がする！」と音を言葉にして伝える。



④ 「こっちはどうかな？」
「ドンドンドンってする」
「面白いね」
と、色々な場所で玩具を使って音を鳴らしていた。



5、振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

片付け中の出来事だが、楽しそうに音を探すことを繰り返していた。音を言葉で表現していたことが面白かったので、音を探すだけでなく言葉や他の方法で表現する遊びもできるのかもしれないと感じた。